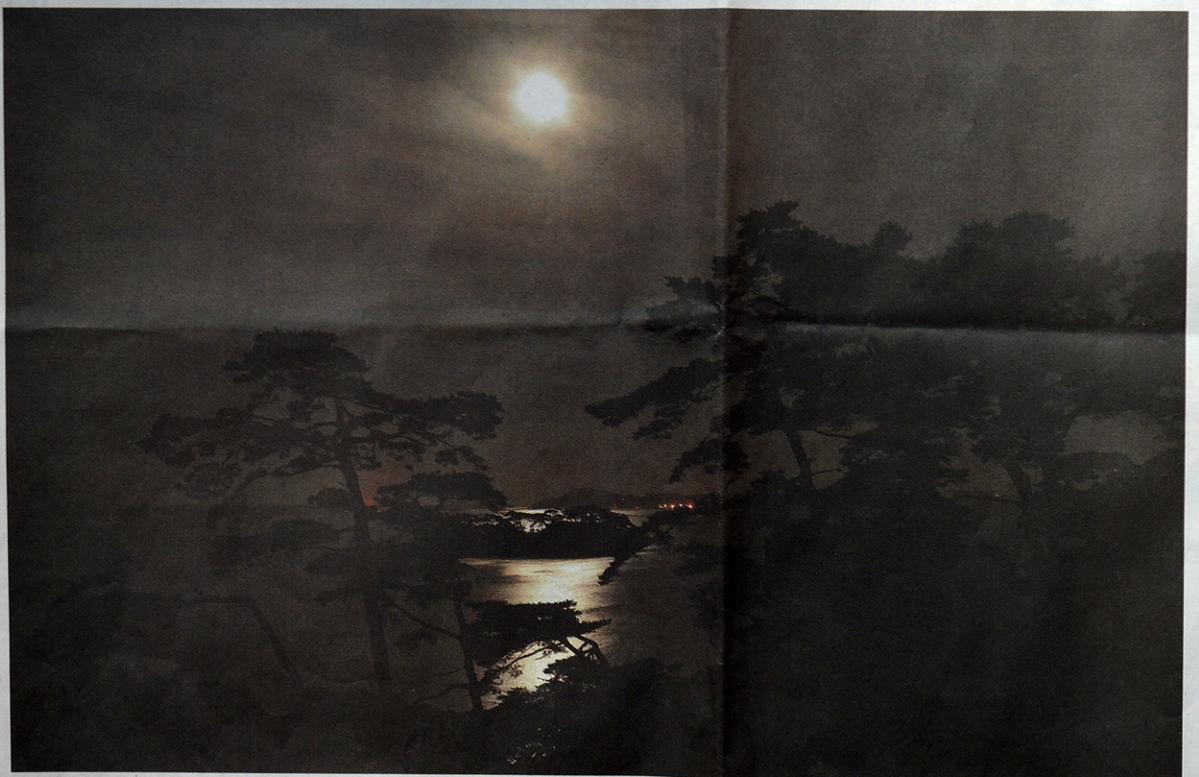


伊達政宗(1567~1636年)辞世の和歌

曇りなき心の月を先だてて浮世の闇を照らしてぞ行く



静寂が訪れた夜の松島。満月が海面に金色の道を描いた(宮城県松島町)

よみほつと 日曜版

オンリーワン ——澤登翠さん
皇室ダイアリー
はな田園

味な話 ——渡辺明さん
激推し!ソフト
おやこで英会WA!
ポケモン 故事成語

2面に続く

写真・田中秀敏

3 年、家康の三男秀忠が、
代将軍となるが、政宗は翌年、家康
の六男の松平忠輝を嫡嗣とする。世
間では、忠輝が政宗を後ろ盾に謀反
を計ったのが伝わる。勢力拡大
をうかがう政宗が攻がる。
4 卷山市にある月浦を出たの
は、613年(慶長18年)
9月15日。満月のうえだ
た。

徳川幕府では「600」

5 年、家康の三男秀忠が、
代将軍となるが、政宗は翌年、家康
の六男の松平忠輝を嫡嗣とする。世
間では、忠輝が政宗を後ろ盾に謀反
を計ったのが伝わる。勢力拡大
をうかがう政宗が攻がる。
6 月、松平忠輝を嫡嗣とする。世
間では、忠輝が政宗を後ろ盾に謀反
を計ったのが伝わる。勢力拡大
をうかがう政宗が攻がる。

5 テレビ情報
8 廉登場



■問い合わせは読者センター

東京 03-3246-2323
大阪 06-6881-7000

YOMIでも

■ご購読は 0120-4343-81



■伊達政宗 戦国武将伊達政宗の生涯は多くの作家の脚本題材に
して、「白山公家記録」の序説の一章について、「伊達政宗」(全8巻)はこれに準じて、「暮りなき心の月をさきてこそゆく」と引用している。

『政治は月がどちらを取ったかもしない』と
いふのは決まって満月のこと」と言
うのは、伊達18代当主の泰宗さん
(53)。政宗が何度も満月を撮っていたとい
う名勝の地、松島町に向かう。町の
中心部に入る手前、対岸に觀音山の近く
で、松島湾の島嶼から満月が顔をの
ぞかせた。日没の約1分前だった。青がかった海濱の空に丸い月が浮
かび、海面に光が映始める。約1
時間後、闇夜の中で光輝月だけと
な、海面には一本の金色の道が
くっきりと照らしだされた。
仙台博物館に、平山郁夫画伯が
描いた、仙台藩の洋式船サン・ファ
ン・バルディスク号が、満月に照ら
されて出帆する絵がある。スペイン
の技術を導入した船には、政宗の意
をほのめ込んだ。現在の石
巻市にある月浦を出たの
は、613年(慶長18年)
9月15日。満月のうえだ
た。

名言巡礼

満月 光り輝く海の道

仙台藩の正史「白山公家記録」
は、藩祖伊達政宗が600年(寛
永13年)8月15日に亡去して、
辞世の和歌が「暮りなき心の月を先
だてて浮世の闇を照らしこそゆく」
だったと、簡潔に記されている。

戦国乱世の終盤に活躍し、一部の
地図でのほか、それとも表記せなか
ったが、海面への無念の思いだったのか。

『政治は月がどちらを取ったかもしない』と
いふのは決まって満月のこと」と言
うのは、伊達18代当主の泰宗さん
(53)。政宗が何度も満月を撮っていたとい
う名勝の地、松島町に向かう。町の
中心部に入る手前、対岸に觀音山の近く
で、松島湾の島嶼から満月が顔をの
ぞかせた。日没の約1分前だった。青がかった海濱の空に丸い月が浮
かび、海面に光が映始める。約1
時間後、闇夜の中で光輝月だけと
な、海面には一本の金色の道が
くっきりと照らしだされた。
仙台博物館に、平山郁夫画伯が
描いた、仙台藩の洋式船サン・ファ
ン・バルディスク号が、満月に照ら
されて出帆する絵がある。スペイン
の技術を導入した船には、政宗の意
をほのめ込んだ。現在の石
巻市にある月浦を出たの
は、613年(慶長18年)
9月15日。満月のうえだ
た。

『政治は月がどちらを取ったかもしない』と
いふのは決まって満月のこと」と言
うのは、伊達18代当主の泰宗さん
(53)。政宗が何度も満月を撮っていたとい
う名勝の地、松島町に向かう。町の
中心部に入る手前、対岸に觀音山の近く
で、松島湾の島嶼から満月が顔をの
ぞかせた。日没の約1分前だった。青がかった海濱の空に丸い月が浮
かび、海面に光が映始める。約1
時間後、闇夜の中で光輝月だけと
な、海面には一本の金色の道が
くっきりと照らしだされた。
仙台博物館に、平山郁夫画伯が
描いた、仙台藩の洋式船サン・ファ
ン・バルディスク号が、満月に照ら
されて出帆する絵がある。スペイン
の技術を導入した船には、政宗の意
をほのめ込んだ。現在の石
巻市にある月浦を出たの
は、613年(慶長18年)
9月15日。満月のうえだ
た。

『政治は月がどちらを取ったかもしない』と
いふのは決まって満月のこと」と言
うのは、伊達18代当主の泰宗さん
(53)。政宗が何度も満月を撮っていたとい
う名勝の地、松島町に向かう。町の
中心部に入る手前、対岸に觀音山の近く
で、松島湾の島嶼から満月が顔をの
ぞかせた。日没の約1分前だった。青がかった海濱の空に丸い月が浮
かび、海面に光が映始める。約1
時間後、闇夜の中で光輝月だけと
な、海面には一本の金色の道が
くっきりと照らしだされた。
仙台博物館に、平山郁夫画伯が
描いた、仙台藩の洋式船サン・ファ
ン・バルディスク号が、満月に照ら
されて出帆する絵がある。スペイン
の技術を導入した船には、政宗の意
をほのめ込んだ。現在の石
巻市にある月浦を出たの
は、613年(慶長18年)
9月15日。満月のうえだ
た。

よみ
ほつ
と
日曜版